

刈 谷 市
スポーツに関する
市民・高校生・小中学生アンケート
結果報告書【概要版】

平成 3 0 年 3 月

教育部 スポーツ課

I. 調査概要

1. 調査の目的

平成30年度に『第3次刈谷市スポーツマスタープラン』を策定する基礎資料とするため。

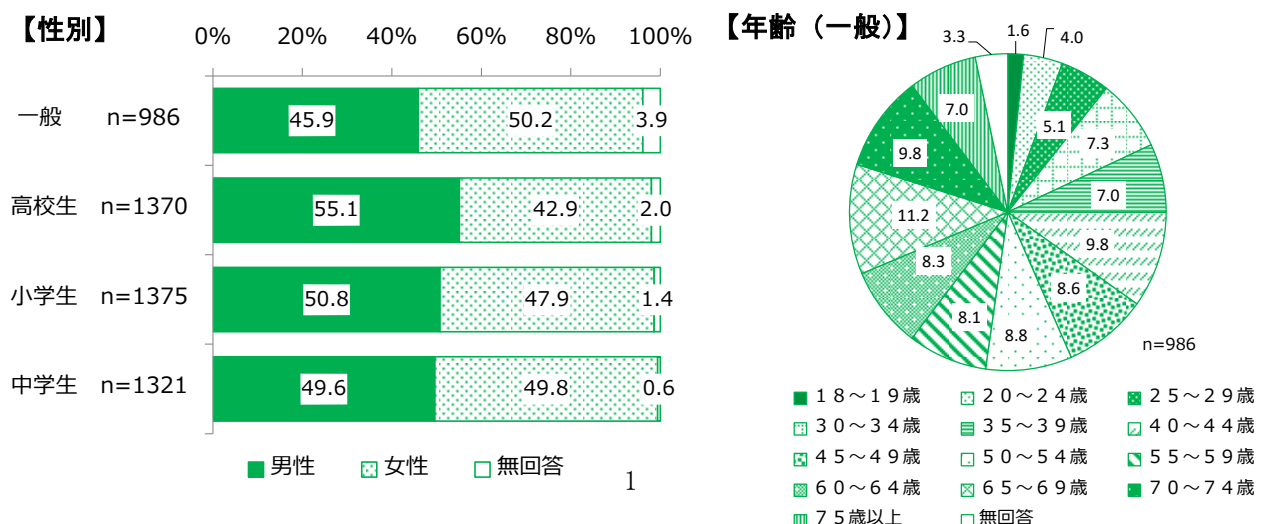
2. 調査対象及び調査方法

	一般	高校生	小中学生
調査対象者	刈谷市在住の 18歳以上の男女	刈谷市内の高等学校に 通う高校2年生の生徒	刈谷市内の小中学校に 通う生徒（小学5年生・中 学2年生）
標本数	3,000人	1,456人	2,818人
回収数	987人	1,370人	2,697人
有効回収数	986人	1,370人	2,696人
有効回収率	32.9%	94.1%	95.7%
調査期間	平成29年11月		
調査方法	郵送配布、郵送回収	学校にて配布・回収	

3. 調査項目

	一般	高校生	小中学生
1.スポーツや運動に対する意識	○	○	○
体力や健康	○	-	-
スポーツや運動への興味関心	○	○	-
「する」スポーツ	○	○	○
「みる」スポーツ	○	○	○
「ささえる」スポーツ	○	○	-
2.スポーツや運動の実施の現況	○	○	○
3.公共スポーツ施設	○	○	-
4.これからのスポーツや運動	○	○	-
5.刈谷市にゆかりのあるスポーツ選手やチーム	○	○	○
6.スポーツや運動の全般（自由記述）	○	○	-
7.回答者のプロフィール	○	○	○

4. 回答者属性



Ⅱ. 調査結果【一般】

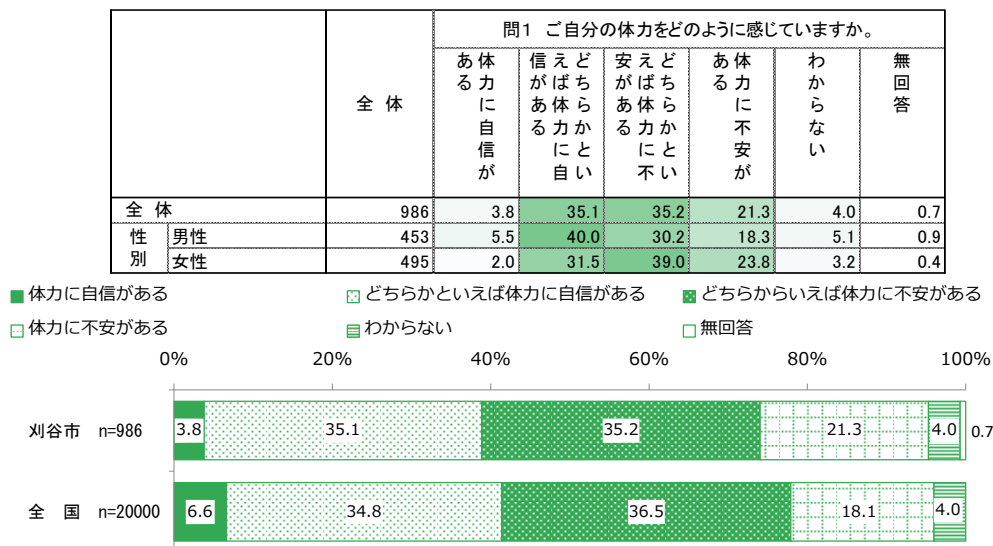
1. スポーツや運動に対する意識について

自分の体力や健康について

○性別で見ると、女性は男性と比べて体力に不安を感じている人が多くなっています。

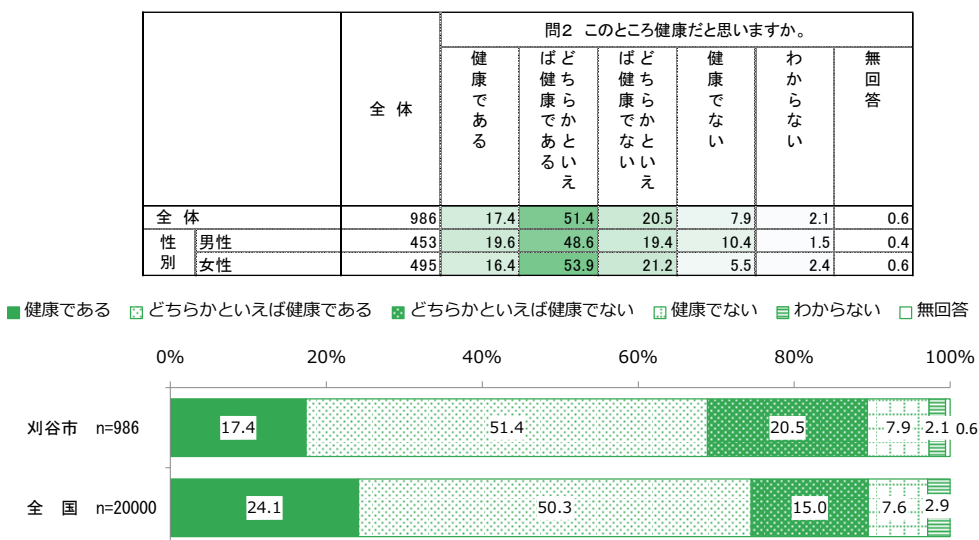
○全国と比較すると、「体力に自信がある」、「健康である」が少なく、一方で「体力に不安がある」、「どちらかといえば健康でない」が多くなっています。

図表1 自分の体力



※全国：文部科学省「スポーツの実施状況等に関する世論調査（平成28年11月調査）」より

図表2 健康だと思うか

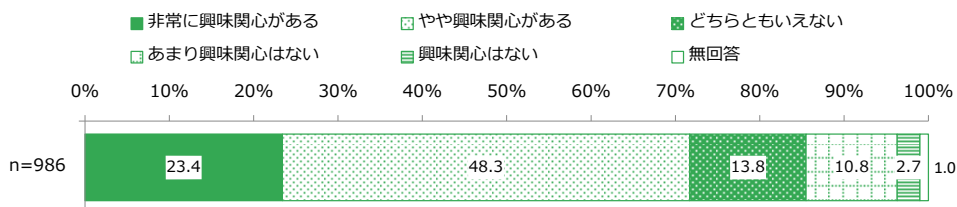


※全国：文部科学省「スポーツの実施状況等に関する世論調査（平成28年11月調査）」より

スポーツや運動への興味関心について

- 全体では、7割（71.7%）以上が“興味関心がある”（「非常に興味関心がある」+「やや興味関心がある」）と回答しています。
- 性別でみると、女性で「あまり興味関心はない」と回答した人は、男性の約2倍となっています。

図表3 スポーツや運動への興味関心



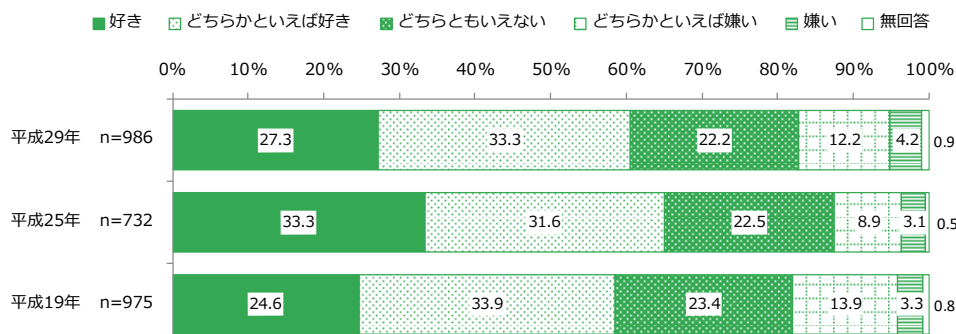
		全体	問3 スポーツや運動に興味関心がありますか。					無回答
			非常に興味関心がある	やや興味関心がある	どちらともいえない	あまり興味関心はない	無回答	
全体		986	23.4	48.3	13.8	10.8	2.7	1.0
性別	男性	453	25.4	51.4	12.8	7.3	2.6	0.4
	女性	495	21.4	45.3	15.2	14.1	2.6	1.4

スポーツや運動をすることへの好感度について

- 全体では、6割以上（60.6%）が“好き”（「好き」+「どちらかといえば好き」）と回答しています。
- 性別でみると、男性の方がスポーツや運動が好きになる人が多くなっています。
- 平成25年に「好き」は3割以上となりましたが、平成29年には再び3割以下となり、「嫌い」が増えています。

図表4 スポーツや運動をすることへの好感度

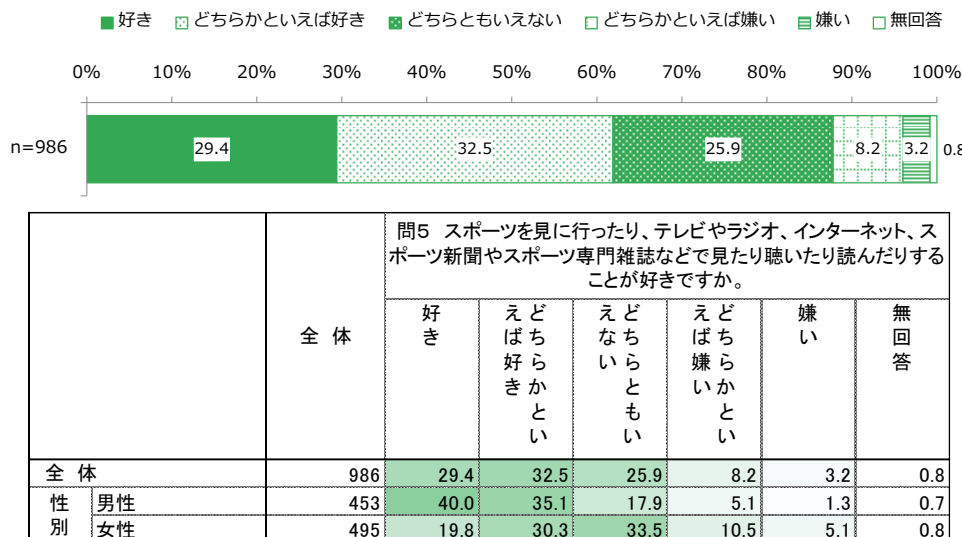
		全体	問4 スポーツや運動をすることが好きですか。					無回答
			好き	どちらかといえば好き	どちらともいえない	どちらかといえば嫌い	嫌い	
全体		986	27.3	33.3	22.2	12.2	4.2	0.9
性別	男性	453	32.5	36.2	19.9	8.8	2.2	0.4
	女性	495	22.6	29.9	24.8	15.6	5.9	1.2



スポーツを見たり聴いたり読んだりすることへの好感度について

- 全体では6割以上（61.9%）が“好き”（「好き」+「どちらかといえば好き」）と回答しています。
- 性別でみると、男性で「好き」と回答した人は、女性の約2倍の4割となっています。

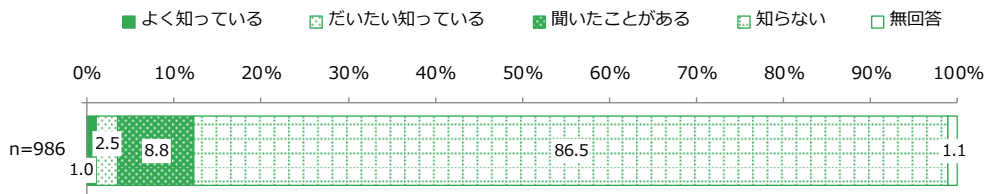
図表5 スポーツを見たり聴いたり読んだりすることへの好感度



「ささえるスポーツ」の認知度について

- 全体では8割以上の人が「知らない」と回答しています。

図表6 「ささえるスポーツ」という言葉の認知度



2. スポーツや運動の実施の現況について

この1年間でのスポーツや運動（1回あたり30分程度以上）の実施頻度について

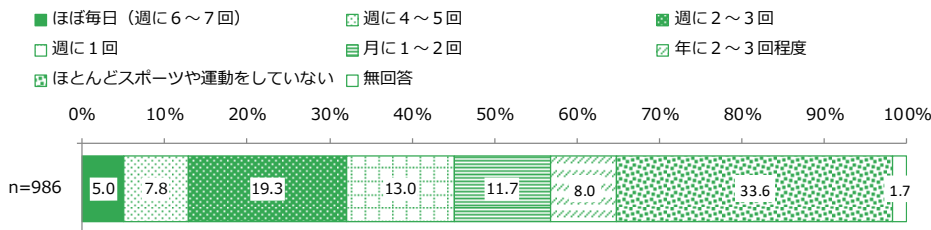
- 週に1回以上、30分程度以上スポーツや運動をする人は、全体で45.1%となっています。
- 性別でみると、女性は「ほとんどスポーツや運動をしていない」が4割となっています。
- 年齢別にみると、週に1回以上スポーツや運動を行っている人の割合が、18～19歳と60歳以上で5割以上、30歳代で2割～3割強となっており、仕事をしている世代と、学生や定年後で時間を自由に使える世代とで運動を行う割合に差が出ています。

図表7 評価指標

評価指標	策定時数値 (H20)	改定時数値 (H24)	H26	H28	現状値 (H29)	目標値 (H30)
成人のスポーツ実施率 (週1回以上)	26.0%	39.5%	39.1%	44.6%	45.1%	50.0%

※週1回以上の成人のスポーツ実施率は計画の評価指標となっていますが、指標数値の管理は2年に1度実施する市政全般にわたる「市民意識調査」による数値にて行っているため、今回調査結果数値は参考値として記載しています。

図表8 スポーツや運動の頻度

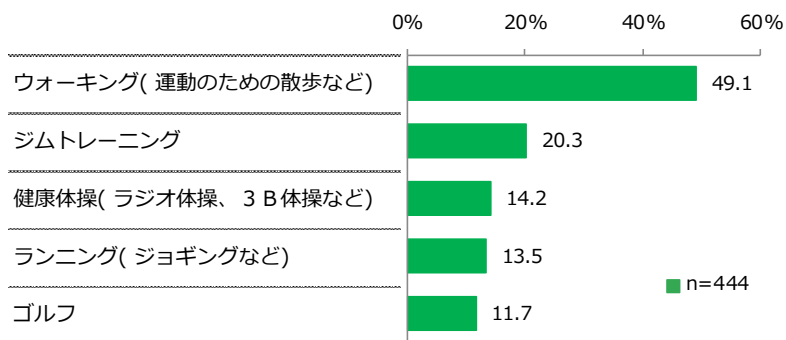


		問11 この1年間、スポーツや運動(1回あたり30分程度以上)をどれくらいの頻度で実施していますか。								
		7 回 ほぼ毎日 (週に6~)	週に4~5回	週に2~3回	週に1回	月に1~2回	年に2~3回程度	ほとんどスポーツや運動をしていない	無回答	
全体	全体	986	5.0	7.8	19.3	13.0	11.7	8.0	33.6	1.7
性別	男性	453	6.4	8.6	20.8	12.8	14.1	9.3	26.7	1.3
	女性	495	3.6	6.3	18.4	13.5	9.7	6.7	40.0	1.8
年齢	18~19歳	16	12.5	6.3	18.8	12.5	12.5	18.8	18.8	-
	20~24歳	39	5.1	7.7	17.9	15.4	17.9	17.9	17.9	-
	25~29歳	50	2.0	2.0	24.0	16.0	22.0	12.0	22.0	-
	30~34歳	72	-	-	8.3	15.3	18.1	13.9	44.4	-
	35~39歳	69	5.8	7.2	17.4	8.7	18.8	4.3	37.7	-
	40~44歳	97	1.0	5.2	12.4	15.5	14.4	12.4	39.2	-
	45~49歳	85	1.2	4.7	17.6	23.5	11.8	4.7	36.5	-
	50~54歳	87	1.1	4.6	14.9	16.1	8.0	11.5	42.5	1.1
	55~59歳	80	7.5	7.5	15.0	11.3	12.5	6.3	38.8	1.3
	60~64歳	82	3.7	8.5	25.6	15.9	8.5	9.8	26.8	1.2
	65~69歳	110	6.4	18.2	20.9	10.9	9.1	4.5	28.2	1.8
70~74歳	97	8.2	11.3	33.0	6.2	6.2	2.1	27.8	5.2	
75歳以上	69	15.9	5.8	26.1	5.8	2.9	-	36.2	7.2	

(週1回以上実施している方への設問) 行っているスポーツや運動について (〇はいくつでも)

〇「ウォーキング」(49.1%)をはじめ、「健康体操」(14.2%)「ランニング」(13.5%)など、誰もが比較的簡単に始めることができ、かつ継続もしやすいスポーツや運動が多くなっています。

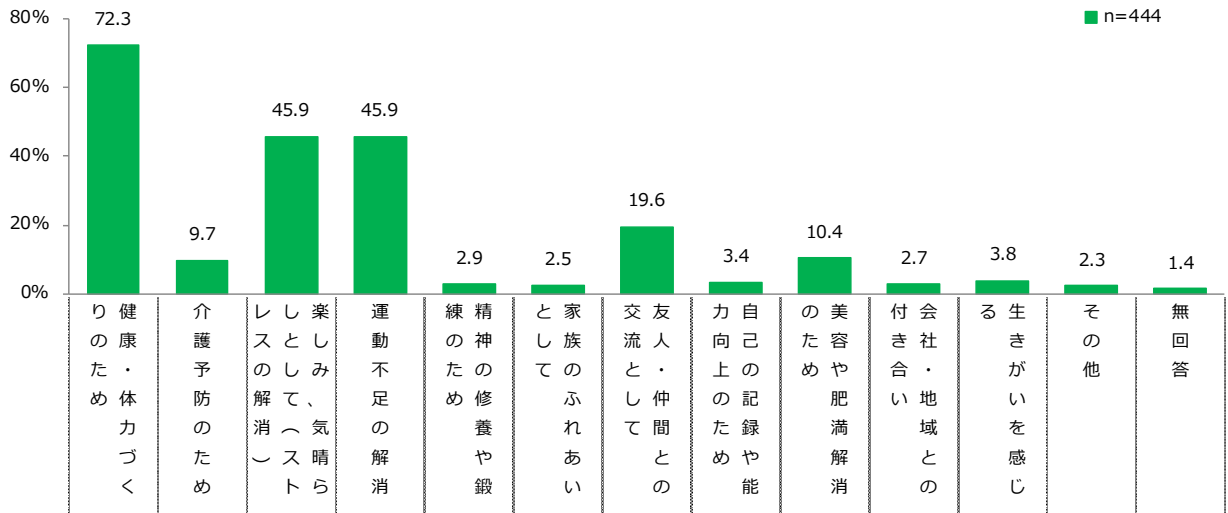
図表9 行っているスポーツや運動 (上位5つのみ)



(週1回以上実施している方への設問) スポーツや運動をしている理由について (○は3つ以内)

○最も多い「健康・体力づくりのため」(72.3%)をはじめ、上位の理由は男女ともに概ね共通していますが、女性では「美容や肥満解消」(15.9%)が高くなっているなど、性別により、スポーツや運動をしている理由に違いがあることもうかがえます。

図表10 スポーツや運動をしている理由



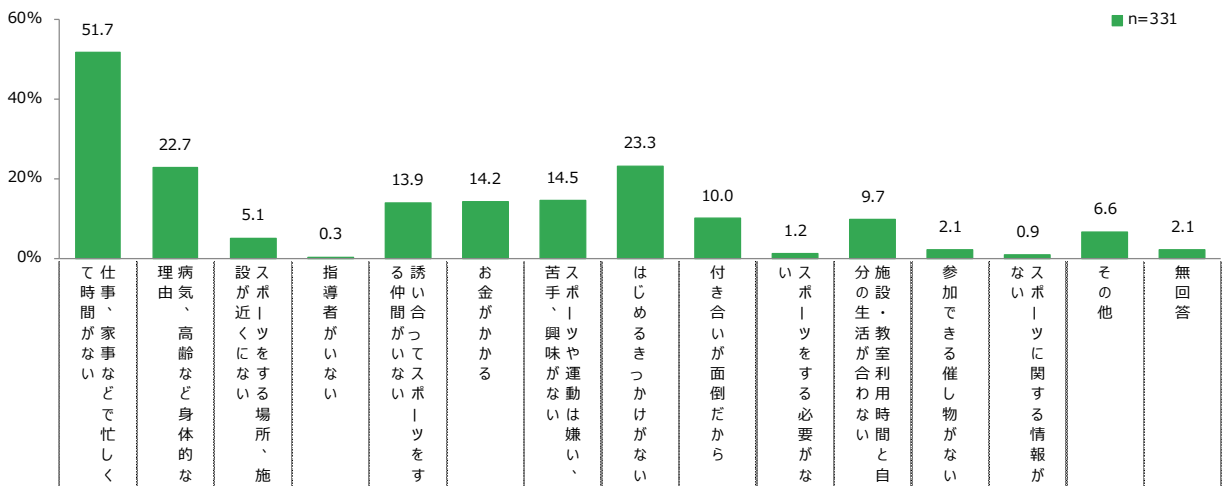
		問11-2 スポーツや運動をしている理由は何ですか。													
		健康・体力づくりのため	介護予防のため	レスと解消(ストレス)	楽しみのため	運動不足の解消	精神の修養や鍛錬のため	家族のふれあい	友人・仲間との交流	自己の記録や能力向上のため	美容や肥満解消のため	社会・地域との付き合い	生きがいを感じる	その他	無回答
全体	444	72.3	9.7	45.9	45.9	2.9	2.5	19.6	3.4	10.4	2.7	3.8	2.3	1.4	
性別															
男性	220	71.8	9.5	47.7	42.3	4.1	1.8	19.1	5.5	5.5	4.1	3.2	3.2	0.9	
女性	207	71.0	10.6	43.5	48.8	1.9	3.4	19.3	1.0	15.9	1.4	4.8	1.4	1.9	

(ほとんどスポーツや運動をしていない方への設問)

スポーツや運動をしていない理由について (○は3つ以内)

○「仕事、家事などで忙しくて時間がない」(51.7%)が最も多く、次いで「はじめるきっかけがない」(23.3%)、「病気、高齢など身体的な理由」(22.7%)となっています。

図表11 スポーツや運動をしていない理由

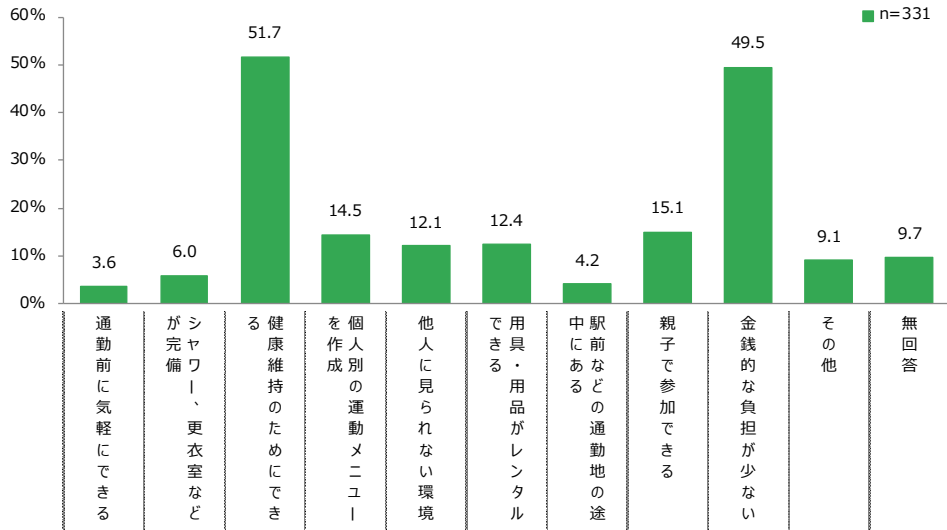


(ほとんどスポーツや運動をしていない方への設問)

スポーツや運動をやってみたいと思う条件やメニューについて (〇はいくつでも)

- 「健康維持のためにできる」(51.7%) が最も多く、次いで「金銭的な負担が少ない」(49.5%) となっています。
- 性別で見ると、女性は「親子で参加できる」(20.7%) や「他人に見られない環境」(15.7%) が男性と比べ、高くなっています。

図表 1 2 スポーツや運動をやってみたいと思う条件やメニュー



		問11-5 どんな条件やメニューがあればスポーツや運動をやってみたいと思いますか。										
全体		で通勤前に気軽にできる	シャワー、更衣室などが完備	健康維持のためにできる	個人別の運動メニューを作成	他人に見られない環境	用具・用品がレンタルできる	駅前などの通勤地の途中にある	親子で参加できる	金銭的な負担が少ない	その他	無回答
全体	331	3.6	6.0	51.7	14.5	12.1	12.4	4.2	15.1	49.5	9.1	9.7
性別												
男性	121	4.1	6.6	51.2	11.6	7.4	14.0	5.0	6.6	44.6	11.6	7.4
女性	198	3.5	5.6	52.5	16.2	15.7	11.1	4.0	20.7	52.0	7.6	9.6

この1年間での県や市などが開催するスポーツ行事、スポーツ教室などへの参加について

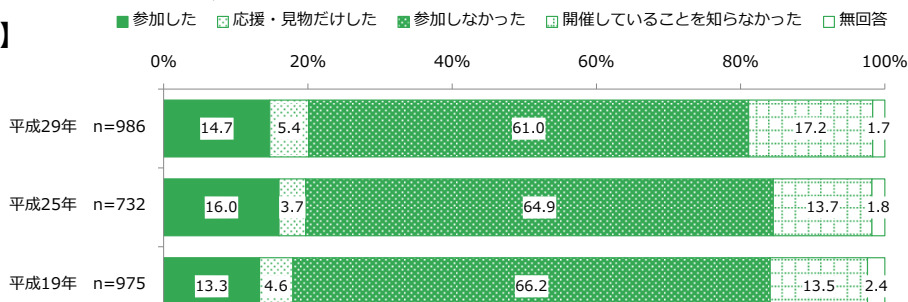
- スポーツ行事の情報を知らなかったと回答した人の割合は計画の評価指標となっています。
- 平成 24 年は 13.7%でしたが、今回の調査では 17.2%と、3.5 ポイント高くなっており、目標値との差が広がっております。

図表 1 3 評価指標

評価指標	策定時数値 (H19)	改定時数値 (H24)	現状値 (H29)	目標値 (H30)
スポーツ行事の情報を知らなかったと回答した人の割合	13.5%	13.7%	17.2%	10.0%

図表 1 4 県や市などが開催するスポーツ行事等への参加

【参考値】



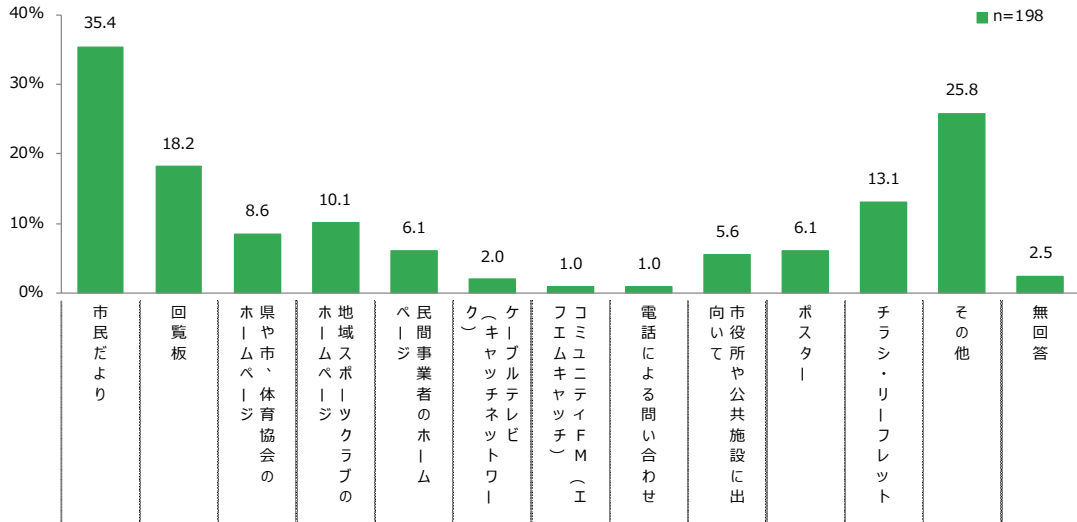
※「開催していることを知らなかった」: 平成 19 年、平成 25 年は「行っていることを知らなかった」

(行事等に参加したり応援したことがある方への設問)

スポーツ行事等の情報の入手方法について (〇はいくつでも)

〇「市民だより」(35.4%) が最も多く、次いで「回覧板」(18.2%)、「チラシ・リーフレット」(13.1%) となっています。過去調査と比較すると、「市民だより」の数値は大きく減少しており、様々なツールを活用した多岐にわたる情報展開の必要性が高まっていることがうかがえます。

図表 1 5 どのように情報を得たか



【参考値】

	全体	問13-1 実際にどのようにそれらの情報を得ましたか。												
		市民だより	回覧板	県や市、体育協会のホームページ	地域スポーツクラブのホームページ	民間事業者のホームページ	ケーブルテレビ (キャッチネット)	コミュニケーション (Eメール、キャッチ)	電話による問い合わせ	市役所や公共施設に向いて	ポスター	チラシ・リーフレット	その他	無回答
平成29年	198	35.4	18.2	8.6	10.1	6.1	2.0	1.0	1.0	5.6	6.1	13.1	25.8	2.5
平成25年	144	64.6	27.1	11.8			2.1	0.7	0.7	7.6			22.2	0.7
平成19年	175	68.6	25.1	7.4			2.3	0.0	0.6	5.7			22.9	2.3

※平成 25 年、平成 29 年は「アイリスガイド刈谷」は無し / ※「チラシ・リーフレット」は平成 29 年より追加
 ※「県や市、体育協会のホームページ」:平成 19 年、平成 25 年は「インターネットホームページ」

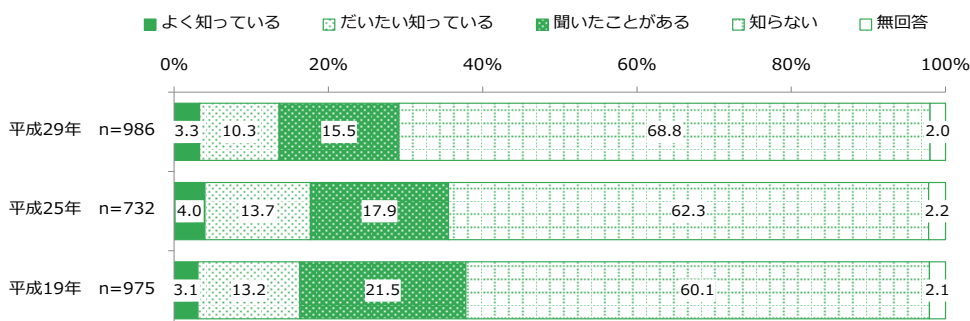
総合型地域スポーツクラブの認知度について

- 〇総合型地域スポーツクラブの認知度(「よく知っている」+「だいたい知っている」+「聞いたことがある」)は計画の評価指標となっています。
- 〇平成 24 年は 35.6%でしたが、今回の調査では 29.1%と、6.5 ポイント低くなっており、目標値との差が広がっております。

図表 1 6 評価指標

評価指標	策定時数値 (H19)	改定時数値 (H24)	現状値 (H29)	目標値 (H30)
総合型地域スポーツクラブの認知度	37.8%	35.6%	29.1%	70.0%

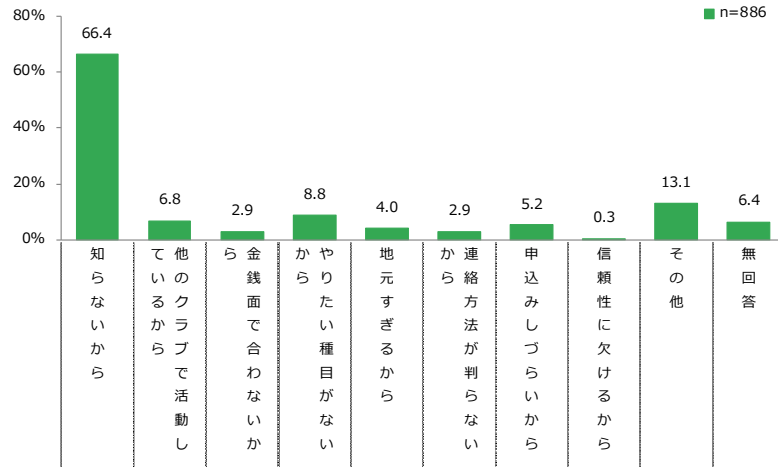
図表 1 7 総合型地域スポーツクラブの認知度



総合型地域スポーツクラブに参加していない理由について（○は3つ以内）

○「知らないから」（66.4%）が最も多くなっています。

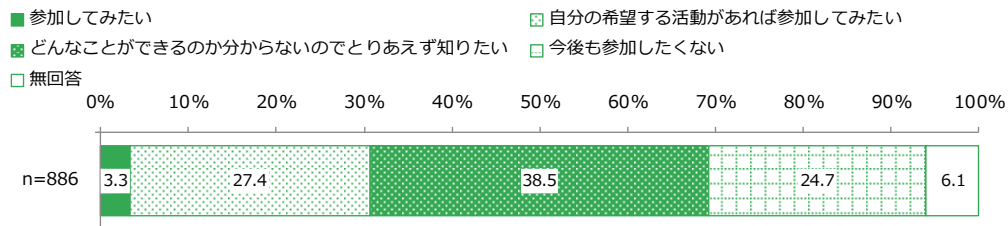
図表18 参加していない理由



総合型地域スポーツクラブへの今後の参加意向について

○「どんなことができるのか分からないのでとりあえず知りたい」（38.5%）が最も多く、一方で「今後も参加したくない」は、全体の4分の1程度に留まっております。

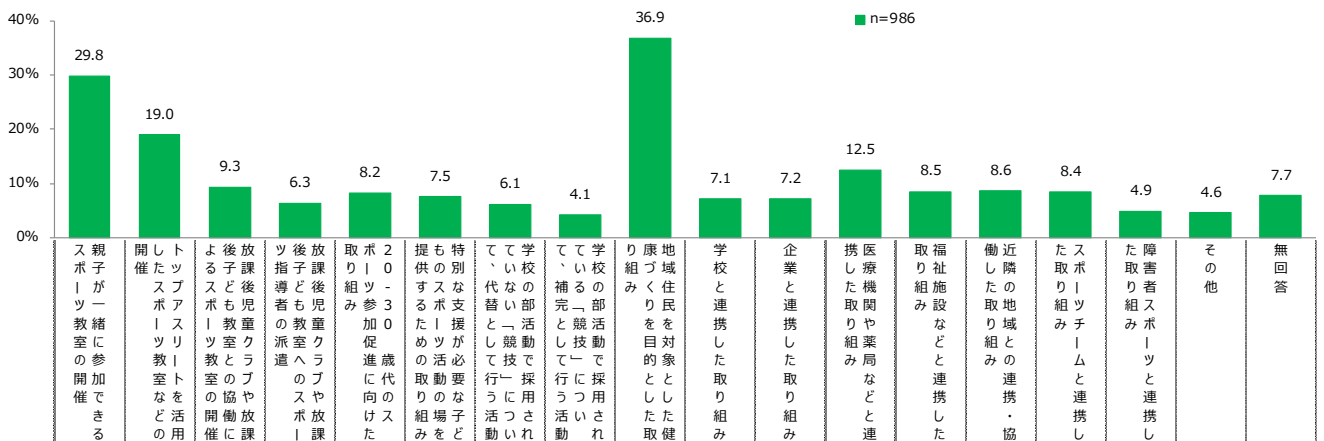
図表19 総合型地域スポーツクラブに参加したいか



地域単位で今後実施すると良いと思う活動について（○は3つ以内）

○「地域住民を対象とした健康づくりを目的とした取り組み」（36.9%）で最も多く、次いで「親子が一緒に参加できるスポーツ教室の開催」（29.8%）、「トップアスリートを活用したスポーツ教室などの開催」（19.0%）となっています。

図表20 今後実施するとよいと思う活動



3. 公共スポーツ施設について

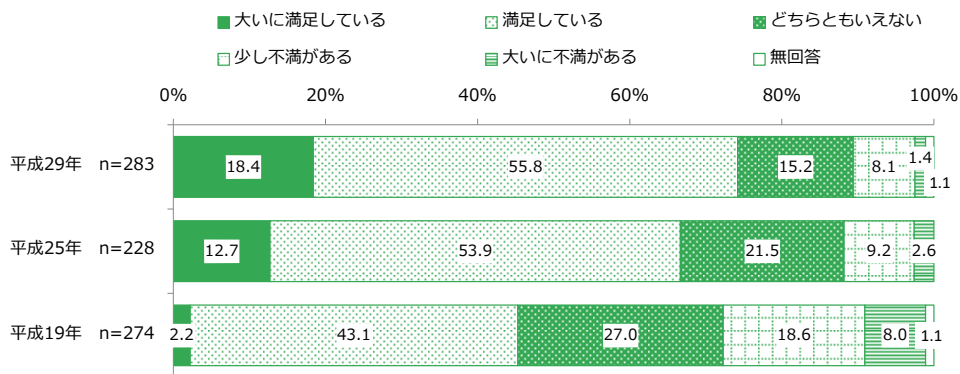
公共スポーツ施設の利用満足度について

- スポーツ施設の利用に満足している人（「大いに満足している」+「満足している」）の割合は計画の評価指標となっています。
- 今回の調査結果は74.2%となっており、平成30年の目標値70.0%を上回っています。

図表 2 1 評価指標

評価指標	策定時数値 (H19)	改定時数 値	現状値 (H29)	目標値 (H30)
スポーツ施設の利用に満足している人の割合	45.3%	66.6%	74.2%	70.0%

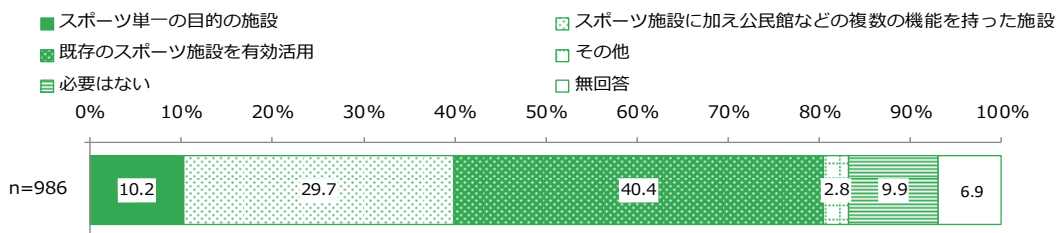
図表 2 2 公共スポーツ施設の利用の満足度



公共スポーツ施設の整備充実のために必要だと思う機能等について

- 「既存のスポーツ施設を有効活用」(40.4%)が最も多く、次いで「スポーツ施設に加え公民館などの複数の機能を持った施設」(29.7%)となっています。

図表 2 3 公共スポーツ施設の整備充実のためにどのような機能の施設が必要か

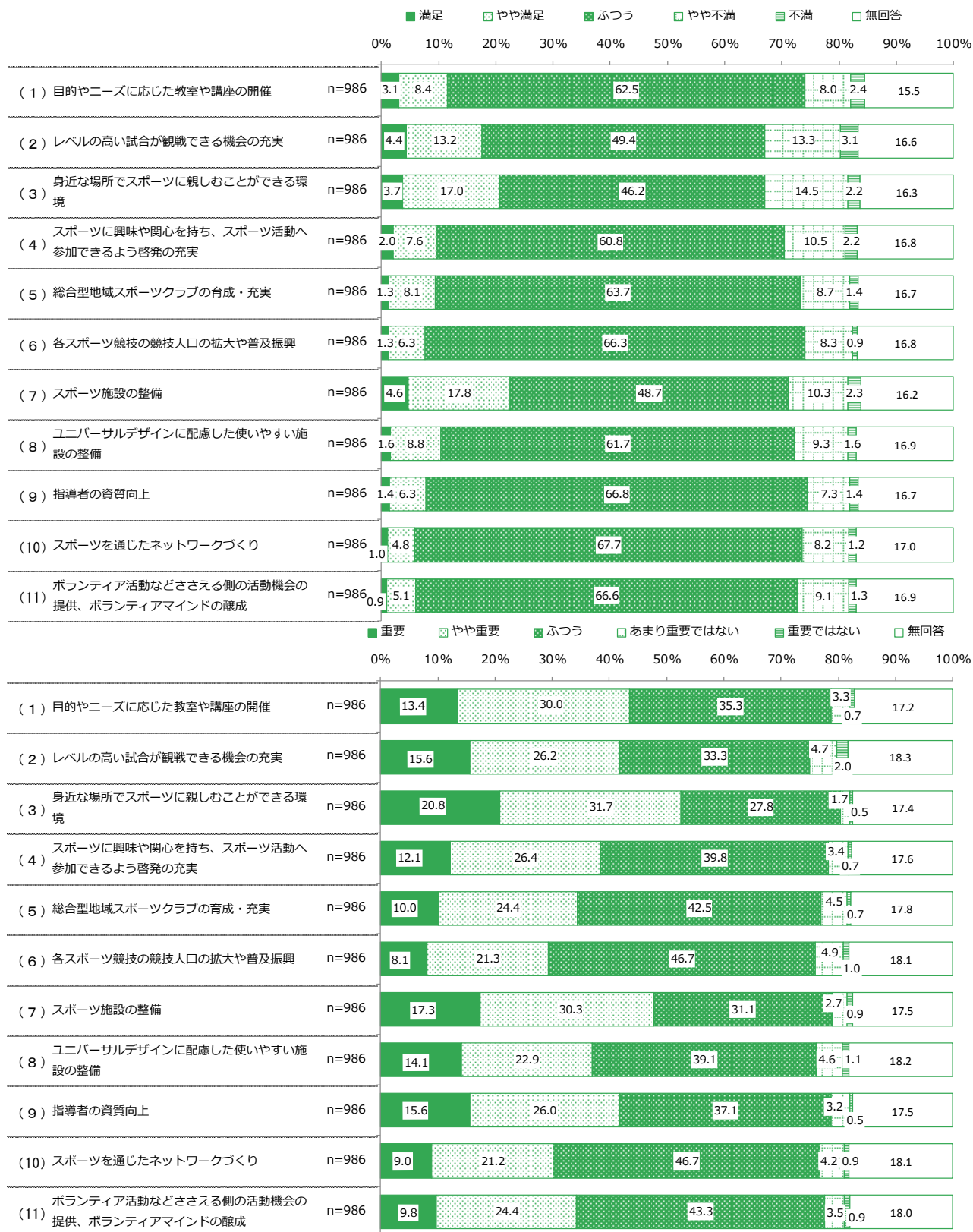


4. これからのスポーツや運動について

刈谷市のスポーツへの取り組みに対する“現在の満足度”と“今後の重要度”について

- 【満足度】「満足」「やや満足」と感じている人は、『(7) スポーツ施設の整備』(22.4%) が最も多く、次いで『(3) 身近な場所でスポーツに親しむことができる環境』(20.7%) となっています。
- 【重要度】「重要」「やや重要」と感じている人は、『(3) 身近な場所でスポーツに親しむことができる環境』(52.5%) が最も多く、次いで、『(7) スポーツ施設の整備』(47.6%) となっています。

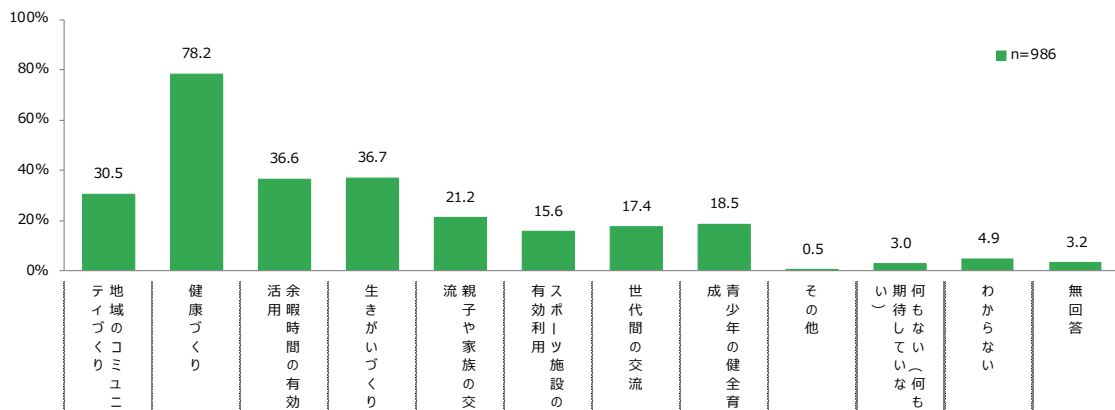
図表 2 4 刈谷市のスポーツへの取り組みについて【満足度】(上段)【重要度】(下段)



社会生活の中で、スポーツや運動に期待する役割について

○「健康づくり」(78.2%)が最も多く、次いで「生きがいがづくり」(36.7%)、「余暇時間の有効活用」(36.6%)となっています。

図表 2 5 スポーツや運動に期待する役割

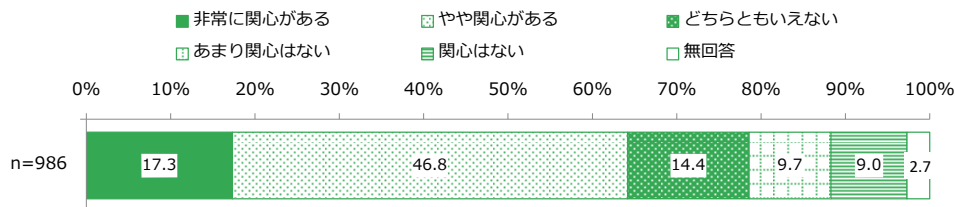


5. 刈谷市にゆかりのあるスポーツ選手やチームについて

全国レベルの大会やオリンピック・ワールドカップなどの大会で、刈谷市にゆかりのあるスポーツ選手やチームが活躍することへの関心について

○全体では6割以上(64.1%)が“関心がある”(「非常に関心がある」+「やや関心がある」と回答しています。

図表 2 6 刈谷市にゆかりのあるスポーツ選手やチームが活躍することへの関心

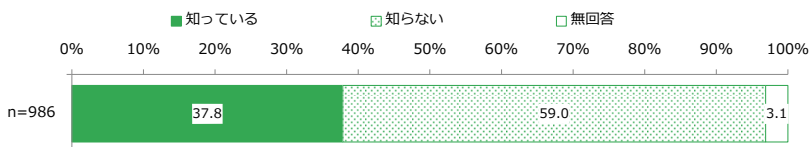


刈谷市ホームタウンパートナーチームの認知度について

○全体では「知っている」が37.8%となっています。

○年齢別にみると、20歳代から40歳代で「知っている」の割合は高くなっています。

図表 2 7 刈谷市ホームタウンパートナーチームの認知度



	全体	問32 刈谷市ホームタウンパートナーチームを知っていますか。			
		知っている	知らない	無回答	
全体	986	37.8	59.0	3.1	
年齢	18～19歳	16	18.8	81.3	-
	20～24歳	39	48.7	48.7	2.6
	25～29歳	50	48.0	52.0	-
	30～34歳	72	41.7	58.3	-
	35～39歳	69	46.4	52.2	1.4
	40～44歳	97	41.2	57.7	1.0
	45～49歳	85	52.9	45.9	1.2
	50～54歳	87	40.2	59.8	-
	55～59歳	80	38.8	60.0	1.3
	60～64歳	82	35.4	63.4	1.2
	65～69歳	110	30.0	63.6	6.4
	70～74歳	97	21.6	69.1	9.3
75歳以上	69	27.5	62.3	10.1	

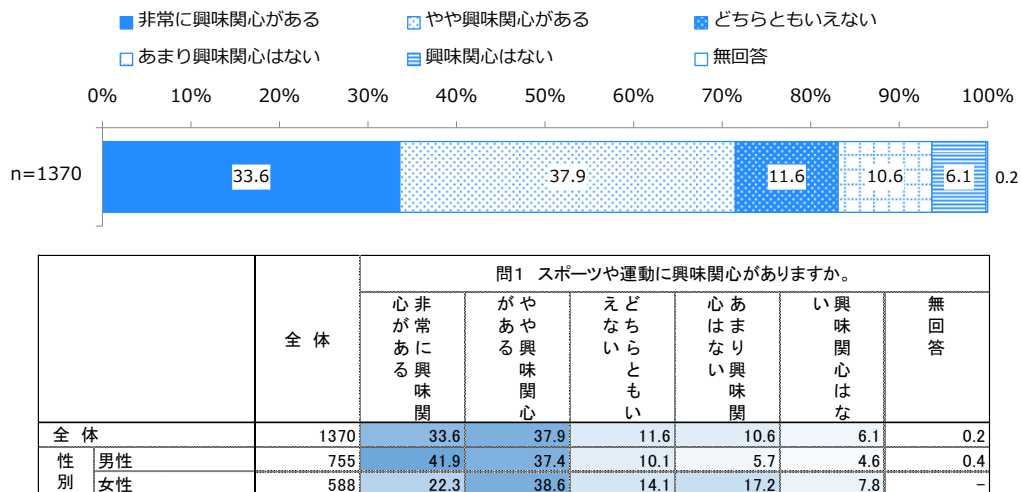
III. 調査結果【高校生】

1. スポーツや運動に対する意識について

スポーツや運動への興味関心について

- 全体では7割以上（71.5%）が“興味関心がある”（「非常に興味関心がある」+「やや興味関心がある」）と回答しています。
- 性別でみると、男性で「非常に興味関心がある」が4割以上となっている一方で、女性で「あまり興味関心はない」と回答した人は、男性の約3倍となっています。

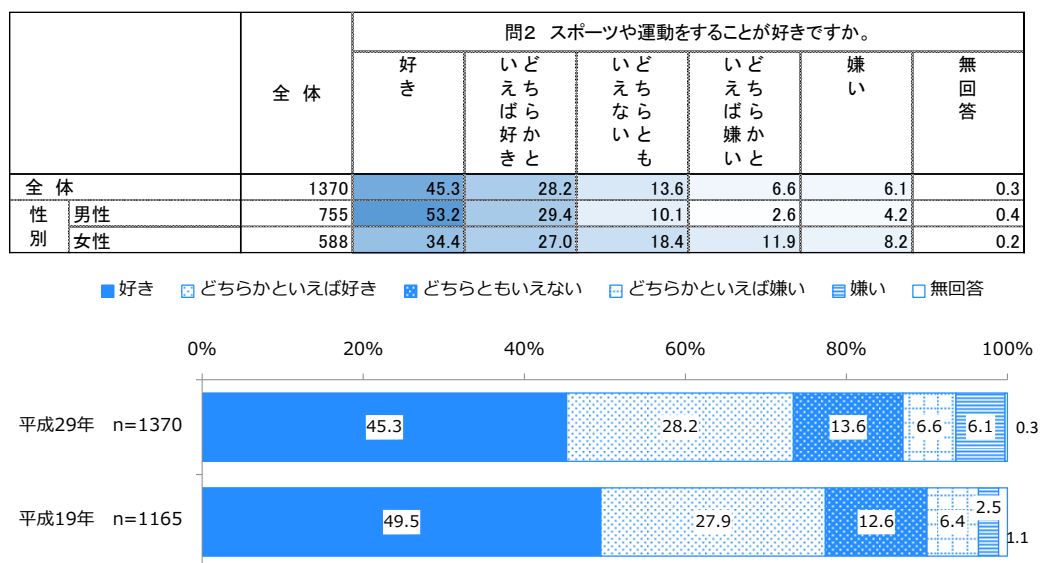
図表 28 スポーツや運動への興味関心



スポーツや運動をすることへの好感度について

- 全体では7割以上（73.5%）が“好き”（「好き」+「どちらかといえば好き」）と回答しています。
- 性別でみると、男性で「好き」と回答した人は、女性より約20ポイント多くなっている一方で、女性で“嫌い”（「嫌い」+「どちらかといえば嫌い」）と回答した人は、男性の約3倍となっています。
- 平成19年と比較すると、「好き」が減少し、嫌いが増加しています。

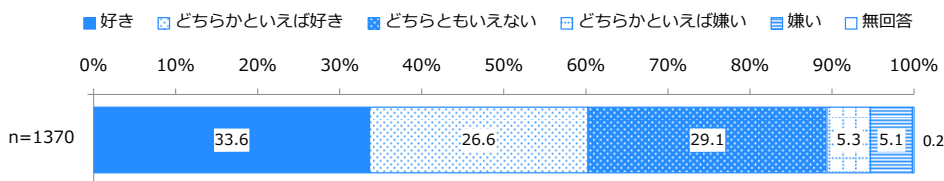
図表 29 スポーツや運動をすることへの好感度



スポーツを見たり聴いたり読んだりすることへの好感度について

- 全体では6割以上（60.2%）が“好き”（「好き」+「どちらかといえば好き」）と回答しています。
- 性別でみると、男性で「好き」が多くなっています。

図表30 スポーツを見たり聴いたり読んだりすることへの好感度

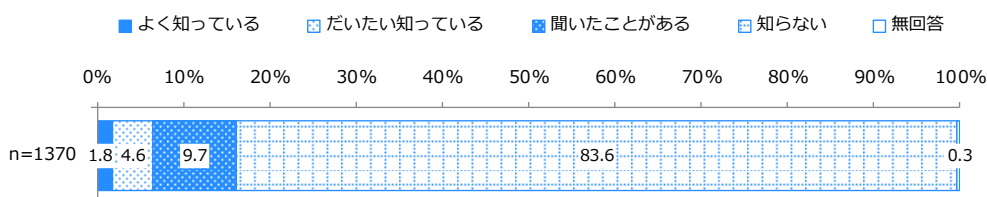


	全体	問3 スポーツを見に行ったり、テレビやラジオ、インターネット、スポーツ新聞やスポーツ専門雑誌などで見たり聴いたり読んだりすることが好きですか。					
		好き	い ど ち ら か と い え ば 好 き と	い ど ち ら か と い え な い と も	い ど ち ら か と い え ば 嫌 い と	嫌 い	無 回 答
全体	1370	33.6	26.6	29.1	5.3	5.1	0.2
性別							
男性	755	39.6	25.7	25.8	4.2	4.4	0.3
女性	588	25.5	28.1	33.3	7.0	6.0	0.2

「ささえるスポーツ」の認知度について

- 全体では8割以上の方が「知らない」と回答しています。

図表31 「ささえるスポーツ」という言葉の認知度



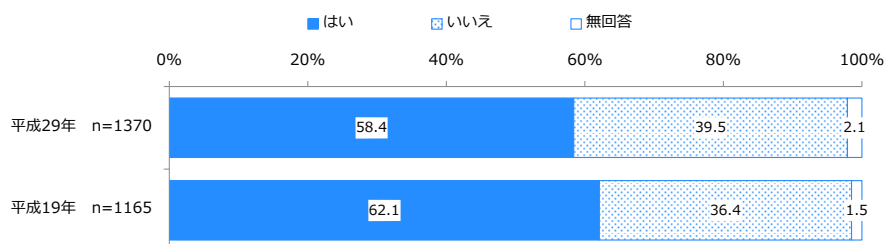
2. スポーツや運動の実施の現況について

学校の部活動（運動部）への加入状況について

- 性別でみると、男性で運動部に入っている人が約7割となっている一方で、女性では運動部に入っていない人が5割以上となっています。
- 平成19年と比較すると、「はい」が減少しています。

図表32 学校の部活動（運動部）に入っているか

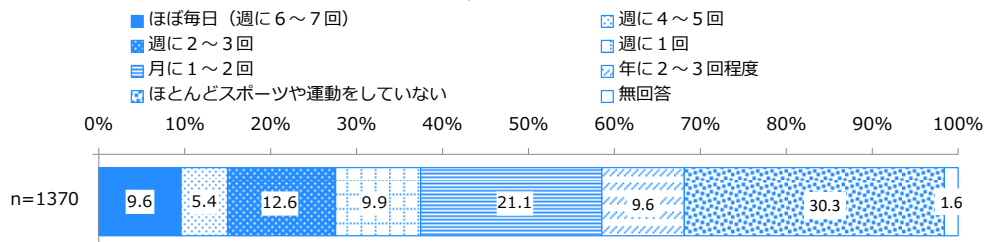
	全体	問9 学校の部活動（運動部）に入っていますか。		
		はい	いいえ	無 回 答
全体	1370	58.4	39.5	2.1
性別				
男性	755	68.2	29.0	2.8
女性	588	45.7	53.2	1.0



この1年間での学校の体育の授業や部活動以外でスポーツや運動（1回あたり約30分以上）の実施頻度について

- 週に1回以上、30分程度以上のスポーツや運動をする人は、全体で37.5%となっています。
- 性別でみると、女性は「ほとんどスポーツや運動をしていない」人が4割以上となっています。

図表33 学校以外の場でのスポーツや運動の頻度

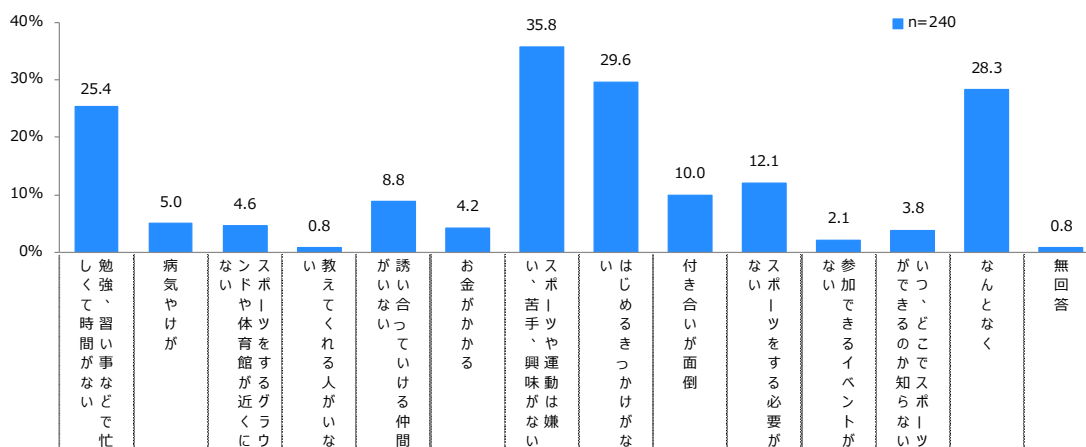


		問10 この1年間、学校の体育の授業や部活動以外でスポーツや運動（1回あたり約30分以上）をどれくらい行っていますか。								
		7 回 〜 毎日 （週に 6 〜 7 回）	週 に 4 〜 5 回	週 に 2 〜 3 回	週 に 1 回	月 に 1 〜 2 回	年 に 2 〜 3 回 程 度	運 動 を し て い な い ツ ツ	無 回 答	
全 体	1370	9.6	5.4	12.6	9.9	21.1	9.6	30.3	1.6	
性 別										
男 性	755	12.3	7.7	15.4	10.9	24.1	8.3	19.6	1.7	
女 性	588	6.0	2.4	8.8	8.8	17.7	10.9	44.4	1.0	

（運動部に未加入でほとんどスポーツや運動をしていない方への設問）スポーツや運動をしていない理由について（○は3つ以内）

- 「スポーツや運動は嫌い、苦手、興味がない」(35.8%) が最も多く、次いで「はじめるきっかけがない」(29.6%) となっています。

図表34 スポーツや運動をしていない理由

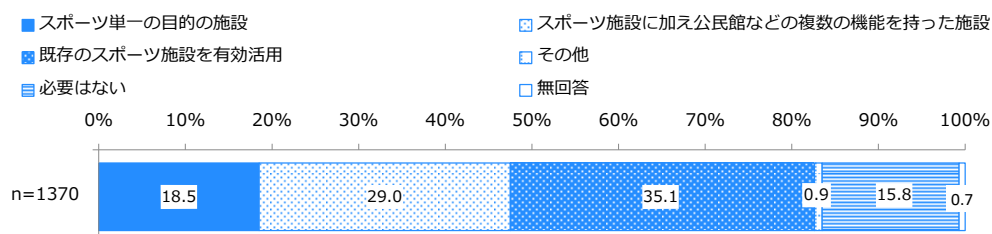


3. 公共スポーツ施設について

公共スポーツ施設の整備充実のために必要だと思う機能等について

○「既存のスポーツ施設を有効活用」(35.1%)が最も多く、次いで「スポーツ施設に加え公民館などの複数の機能を持った施設」(29.0%)となっています。

図表 3 5 公共スポーツ施設の整備充実のためにどのような機能の施設が必要か

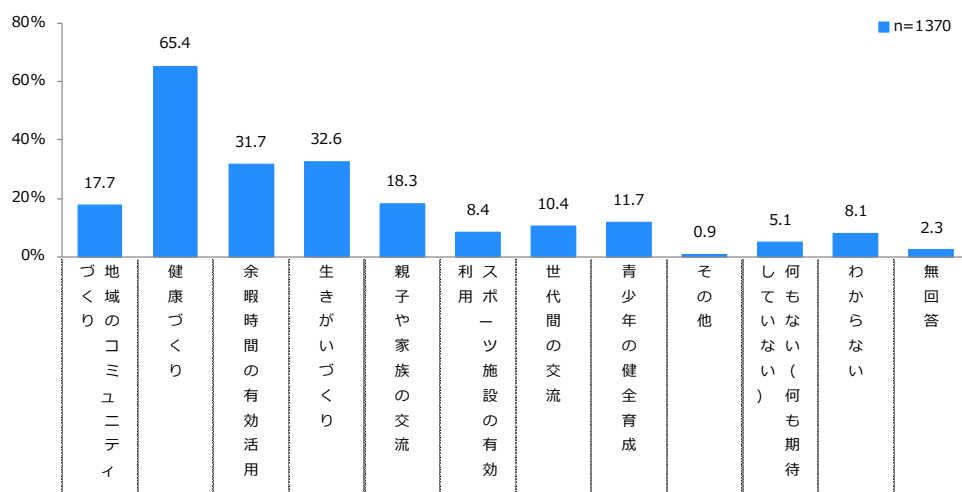


4. これからのスポーツや運動について

社会生活の中で、スポーツや運動に期待する役割について

○「健康づくり」(65.4%)が最も多く、次いで「生きがいがづくり」(32.6%)、「余暇時間の有効活用」(31.7%)となっています。

図表 3 6 スポーツや運動に期待する役割



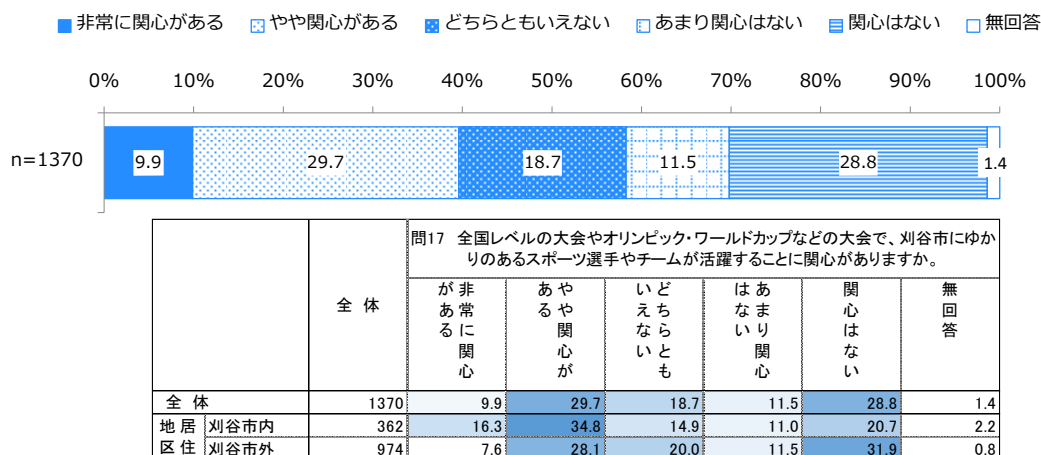
5. 刈谷市にゆかりのあるスポーツ選手やチームについて

全国レベルの大会やオリンピック・ワールドカップなどの大会で、刈谷市にゆかりのあるスポーツ選手やチームが活躍することへの関心について

○全体では4割弱（39.6%）が“関心がある”（「非常に関心がある」+「やや関心がある」）と回答しています。

○居住地区別にみると、市内居住者では、“関心がある”は5割以上（51.1%）となっています。

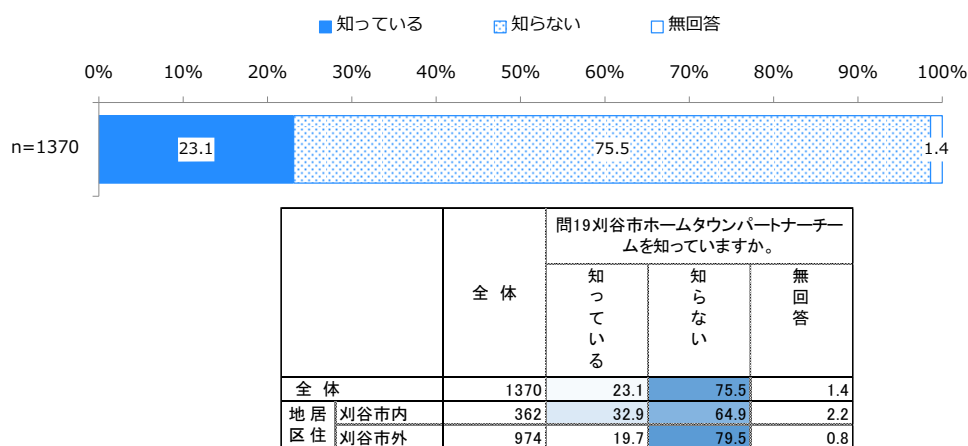
図表37 刈谷市にゆかりのあるスポーツ選手やチームが活躍することへの関心



刈谷市ホームタウンパートナーチームの認知度について

○「知っている」が23.1%となっていますが、居住地区別にみると、市内居住者では、32.9%となっています。

図表38 刈谷市ホームタウンパートナーチームの認知度



IV. 調査結果【小中学生】

1. スポーツや運動に対する意識について

スポーツや運動をすることへの好感度について

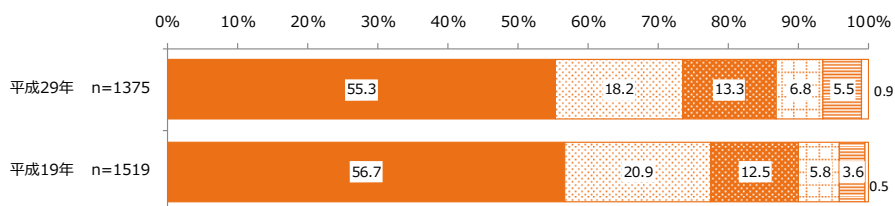
- 小・中学生ともに全体で7割以上（小学生73.5%・中学生72.9%）が“好き”（「好き」+「どちらかといえば好き」）と回答しています。
- 性別でみると、小・中学生ともに、男子で“好き”と回答した人は、女子より約20ポイント多くなっている一方で、女子で“嫌い”（「嫌い」+「どちらかといえば嫌い」）と回答した人は、男子の約3倍となっています。
- 平成19年と比較すると、小学生は“嫌い”が増加し、中学生は“好き”が増加しています。

図表39 スポーツや運動をすることへの好感度

小学生

	全体	問1 スポーツや運動をすることが好きですか。					
		好き	どちらかとい えば好き	どちらともい えない	どちらかとい えば嫌い	嫌い	無回答
全体	1375	55.3	18.2	13.3	6.8	5.5	0.9
性別							
男子	698	64.6	18.8	9.6	3.6	2.4	1.0
女子	658	45.3	17.6	17.0	10.5	8.8	0.8

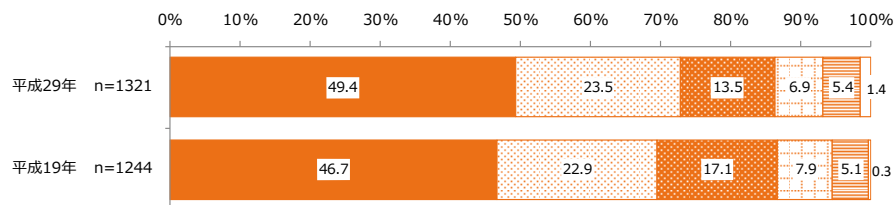
■好き □どちらかといえば好き ■どちらともいえない □どちらかといえば嫌い ■嫌い □無回答



中学生

	全体	問1 スポーツや運動をすることが好きですか。					
		好き	どちらかとい えば好き	どちらともい えない	どちらかとい えば嫌い	嫌い	無回答
全体	1321	49.4	23.5	13.5	6.9	5.4	1.4
性別							
男子	655	60.5	21.8	9.3	3.4	3.2	1.8
女子	658	38.4	25.1	17.6	10.5	7.4	0.9

■好き □どちらかといえば好き ■どちらともいえない □どちらかといえば嫌い ■嫌い □無回答



2. スポーツや運動の実施の現況について

学校の部活動（運動部）への加入状況について

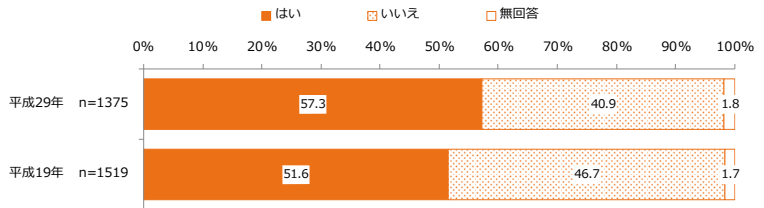
○性別で見ると、小学生では男子で運動部に入っている人が約7割となっている一方で、女子では運動部に入っていない人が5割以上となっています。また、中学生では、男子で運動部に入っている人が約9割となっています。

○平成19年と比較すると、小学生は「はい」が増加しています。

図表40 学校の部活動（運動部）に入っているか

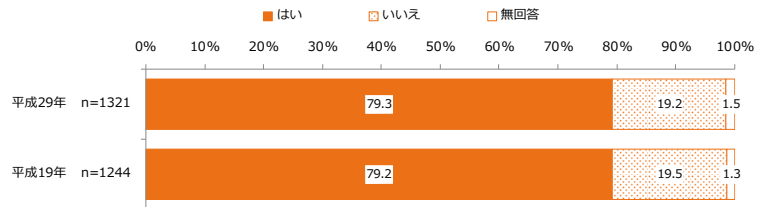
小学生

	全体	問3 学校の部活動(運動部)に入っていますか。		
		はい	いいえ	無回答
全体	1375	57.3	40.9	1.8
性別 男子	698	68.9	28.1	3.0
性別 女子	658	45.0	54.7	0.3



中学生

	全体	問3 学校の部活動(運動部)に入っていますか。		
		はい	いいえ	無回答
全体	1321	79.3	19.2	1.5
性別 男子	655	89.8	7.6	2.6
性別 女子	658	69.0	30.5	0.5



この1年間での、学校の体育の授業や部活動以外でのスポーツや運動の実施状況について

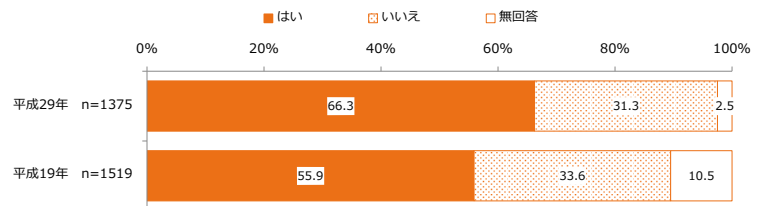
○性別で見ると、小・中学生ともに、女子は男子に比べて、学校以外の場でスポーツや運動をしていない人が多くなっています。

○平成19年と比較すると、小・中学生ともに「はい」が約10ポイント増加しています。

図表41 学校以外の場でのスポーツや運動の実施状況

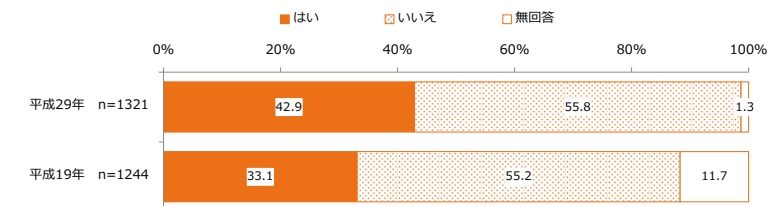
小学生

	全体	問4 この1年間、学校の体育の授業や部活動以外でスポーツや運動を行っていますか。		
		はい	いいえ	無回答
全体	1375	66.3	31.3	2.5
性別 男子	698	75.5	21.1	3.4
性別 女子	658	56.5	42.1	1.4



中学生

	全体	問4 この1年間、学校の体育の授業や部活動以外でスポーツや運動を行っていますか。		
		はい	いいえ	無回答
全体	1321	42.9	55.8	1.3
性別 男子	655	49.0	49.3	1.7
性別 女子	658	36.8	62.3	0.9



(運動部に未加入で学校以外でもスポーツや運動をしていない方への設問) スポーツや運動をしていない理由について (〇は3つ以内)

- 小・中学生ともに、「スポーツや運動は嫌い、苦手、興味がない」(37.9%・44.9%)が最も多く、次いで「勉強、習い事などで忙しくて時間がない」(37.1%・35.7%)となっており、さらに中学生では、「はじめるきっかけがない」(30.1%)が次いで高い割合となっています。
- 性別で見ると、女子で、小学生では、忙しさとスポーツ等への苦手意識や興味のなさから、スポーツや運動をしていない人が4割以上に、また、中学生では、スポーツ等への苦手意識や興味のなさから、スポーツや運動をしていない人が約5割となっています。
- 平成19年と比較すると、小・中学生ともに、「競い合っていける仲間がいない」「スポーツや運動は嫌い、苦手、興味がない」が大きく増加しており、また、中学生では「勉強、習い事などで忙しくて時間がない」「はじめるきっかけがない」も大きく増加しています。

図表4-2 スポーツや運動をしていない理由

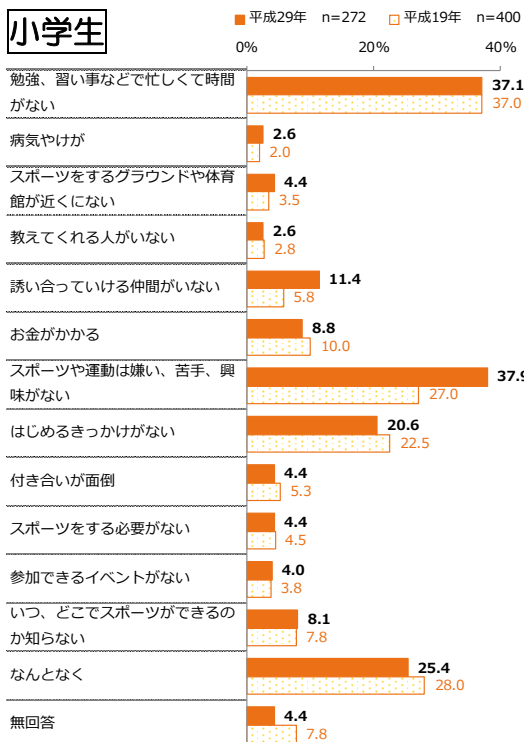
小学生

性別	全体	問5 スポーツや運動をしていない理由は何ですか。														
		勉強、習い事などで忙しくて時間がない	病气やけが	スポーツをするグラウンドや体育館が近くにない	教えてくれる人がいない	誘い合っていない仲間がいない	お金がかかる	嫌いなスポーツや運動は興味がない	はじめるきっかけがない	付き合いが面倒	スポーツをする必要がない	参加できるイベントがない	いつ、どこでスポーツができるのかわからない	なんとなく	無回答	
	全体	272	37.1	2.6	4.4	2.6	11.4	8.8	37.9	20.6	4.4	4.4	4.0	8.1	25.4	4.4
男子	78	23.1	5.1	2.6	3.8	9.0	9.0	28.2	20.5	7.7	7.7	7.7	11.5	24.4	6.4	
女子	192	43.2	1.6	5.2	2.1	12.5	8.9	42.2	20.8	3.1	3.1	2.6	6.8	26.0	2.6	

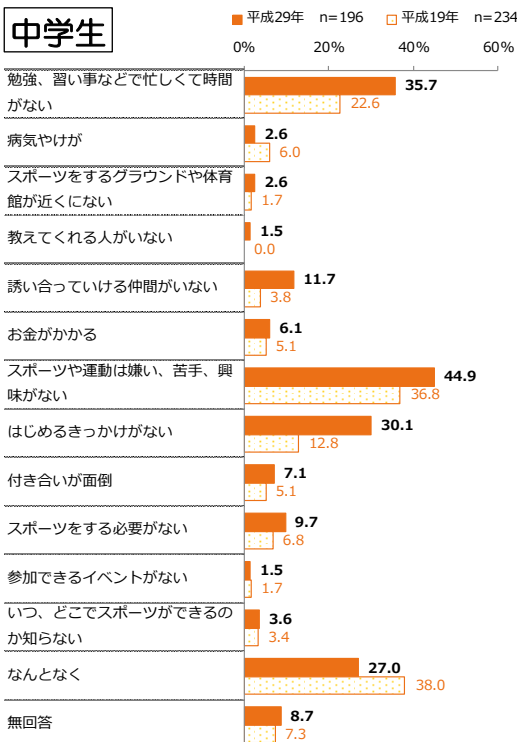
中学生

性別	全体	問5 スポーツや運動をしていない理由は何ですか。														
		勉強、習い事などで忙しくて時間がない	病气やけが	スポーツをするグラウンドや体育館が近くにない	教えてくれる人がいない	誘い合っていない仲間がいない	お金がかかる	嫌いなスポーツや運動は興味がない	はじめるきっかけがない	付き合いが面倒	スポーツをする必要がない	参加できるイベントがない	いつ、どこでスポーツができるのかわからない	なんとなく	無回答	
	全体	196	35.7	2.6	2.6	1.5	11.7	6.1	44.9	30.1	7.1	9.7	1.5	3.6	27.0	8.7
男子	35	25.7	2.9	5.7	-	14.3	5.7	28.6	20.0	14.3	2.9	2.9	2.9	34.3	8.6	
女子	160	37.5	2.5	1.9	1.9	10.6	6.3	48.8	31.9	5.6	11.3	1.3	3.8	25.6	8.8	

小学生



中学生

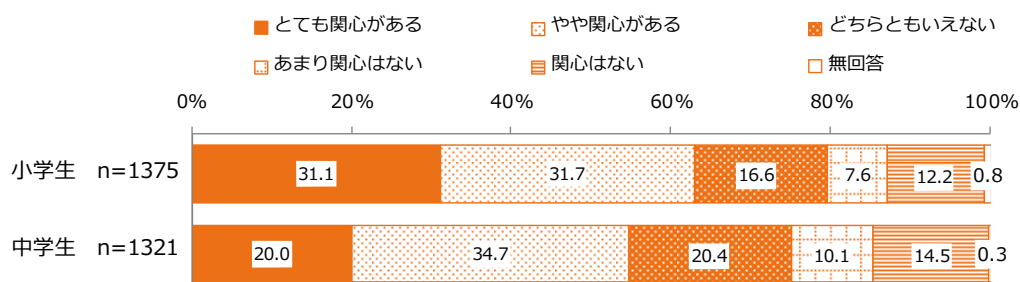


3. 刈谷市にゆかりのあるスポーツ選手やチームについて

全国レベルの大会やオリンピック・ワールドカップなどの大会で、刈谷市にゆかりのあるスポーツ選手やチームが活躍することへの関心について

○全体では小学生の6割以上(62.8%)、中学生の5割以上(54.7%)が“関心がある”(「とても関心がある」+「やや関心がある」と回答しています。

図表 4 3 刈谷市にゆかりのあるスポーツ選手やチームが活躍することへの関心



刈谷市ホームタウンパートナーチームの認知度について

○「知っている」は、小学生では40.8%、中学生では、30.2%となっています。

図表 4 4 刈谷市ホームタウンパートナーチームの認知度

